

誰にでもできるEC入門(3)

3. 決済

インターネット上で商売をする場合に最も重要となるのが「決済」です。その代表的なのがクレジットカードによる電子決済仕様のSET (Secure Electronic Transaction) です。SETを利用するにはSET対応の決済ソフトを導入する必要がありますが、異なるベンダー間での相互運用性の確保 (インターオペラビリティ) の確保や、消費者へのSET対応ソフトの配布などの課題が残り、SETに対応している大規模モールに出店するぐらいが無難なところではあります。SETは標準的な決済の仕様ですが、その普及は当初の予想よりも遅れそうな状況です。そのためSET以外の決済サービスがいろいろ出てきました。実際のビジネスは始まっているので、SETの普及を待ってられないというわけです。

このような決済の1つがサイバーキャッシュの提供する「電子マネー」です。仕組みはプリペイドカードとほぼ同じで、事前に消費者を登録することによって前払い式の決済を行います。また、書店などでプリペイドカードを消費者が購入するBitCashは、カードの残高をサーバで管理し、カードに記載してある番号をパスワードにして前払い式で決済を行います。この方式は、消費者が事前登録などの手間が要らない代わりに、プリペイドカードの流通チャネルのコストが必要なため、手数料が代金の28%と高めになっています。

もちろん、いくらインターネットでの商売であるといっても電子決済で行う必要はありません。これまでの通信販売のように郵便振り込みや銀行振込などがもっとも安価な方法であることは変わりません。また、運送会社の代引サービスを利用すれば確実に代金を回収することができます。また、払い込み先を全国のコンビニを利用するサービスを始めた会社も有ります。このサービスの場合、前払いやクレジットとは異なり督促を自分で行う必要が有ります。SETのほかにもクレジットによる電子決済が有ります。例えば消費者のクレジット情報を事前登録しておき、ショップから決済情報だけをインターネットを経由して受け取る方法や、クレジットカード決済用のサーバをもってサービスを行っているところも有ります。

このように決済するにはいろいろな方法が有り、代表的なSETの本格利用は99年以降となりますが、それぞれの方法で消費者のクレジット情報などを保護するような方法が幾重にも取られています。インターネット上の商売でも決済は振り込みがまず簡単では有りますが、それより増して、いかに消費者とショップの間の信頼関係を築くかが重要となっています。確かに、いろいろな詐欺事件も発生していることですから、十分な注意を払うことは大事なことです。直接交渉するわけではないのですから、信用される決済方法を取ることも重要な選択肢であると考えます。

(次号へ)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 11月2日号

特集 組み込みJava独り立ち

→ネットワークコンピュータ用に開発されたJavaは、新しい言語であるオブジェクト言語に対応し、企業向けの端末用として作られてきたが、その仕様の簡潔さから習得が簡単で機器組み込み用の言語として普及しようとしている。

解説 米国向けDTV受像機、第1世代は大同小異で横並び

→日本では2003年から、米国では既に始まった地上波デジタルテレビ放送。専用チューナがまだ高価で、製品は背面投射型の画面HDTVとほとんど横並び。

解説 電子透かし使うコピー防止技術 家電メーカ中心に一本化へ

→家庭用デジタル録画機器普及を前に、欠かすことのできない不法コピー対策。いろいろ問題を残しながらも一本化が見えてきた。

○日経パソコン 11月2日号

特集 新Celeron vs Pentium II

→互換CPUがPentium IIに対抗して確実にシェアを伸ばし、低価格パソコン用のCPUであるCeleronはPentium IIに迫る性能となっている。書くCPUの特徴とパソコン選びのポイント。

特集 ウイルスの被害はこう防ぐ

→対策を取りながらも後を絶たないコンピュータウイルス。感染から発病までなどを理解し、知識を身につけることにより被害は防げる。

レポート グラフィックソフトの基礎知識

→デジタルカメラの普及などにより、グラフィックソフトへの関心は高まっている。難しそうであったグラフィックソフトが簡単に使えるようになっている。使用目的に合わせて製品選びのポイントは。

○日経バイト 11月号

特集 次世代インターネットを検証する

→インターネットは急激に普及し、世界の情報通信基盤となりつつある。しかし、次世代インターネットは、高速通信回線をバックボーンに誰でもが使える公共性の高い公衆通信網になる。

特集 見えてきた2年後PC

→マイクロソフトとインテルが共同で作成しているPCxx仕様。PC99からは認証を行う。パソコンはより高機能化、低価格となり、過去の仕様からの脱却を目指す。

解説 液晶がCRTを逆転するのはいつか

→液晶パネルの生産過剰で始まった液晶モニタの低価格競争。次の低価格の波は台湾製の出てくる2000年となり、それまでは新方式や高画質化が展開する。

○ASCII 11月号

特集 秋の新製品特集

→インテルのCPUロードマップから各社パソコン新製品。

特集 年賀状作成のノウハウから年賀状ソフト22本対決まで

→年末に必要となる年賀状ソフトの特集

特集 速修!! Win98でいちから覚えるパソコン

→最新OS Win98を中心にハードウェアからアプリケーションからトラブルまでのパソコンの使い方の入門特集

特集 最新Linuxトータルガイド

→UNIXライクなフリーソフトのOSであるLinux。各方面で注目され、使われるようになってきているLinuxのトータルガイド。

○ASCII DOS/V 12月号

特集 Digital Imaging IN & OUT

→これから活躍するイメージデータ。その取り込み、出力のデジカメ、スキャナ、カラープリンタの選び方。

特集 1999年賀状作成スーパーテクニック

→今年の年賀状はこれで変わる。データの入力から加工、出力までのテクニック。

スcoop ベールを脱いだ各社'99年衝撃の新CPU情報

→インテルの次期CPU Katmaiは、互換CPUのK7、mP6、Jalapeñoなどはどうなるか。

○DOS/V magazine 11月15日号

特集 100MHz Slot1マザー頂上対決!!

→今が旬の100MHzマザーボード。互換チップセットの登場。100MHzオーバークロックのマザーボードの27機種総覧。

特集 最新デジカメ・テクニカルガイド

→いろいろなものが大量に発表されているデジカメ。目的によってどのように選べばよいのか。カタログの読み方から上級テクニックまで。

特集 インサイド“コントロールパネル”

→Win98の設定の中心コントロールパネル。そのそれぞれの設定の仕方の解説。